



たかしま

福山市立高島小学校
PTA広報部

第129号

2008年12月20日発行
児童数/131人 家庭数/103



3年生
リレー

2年生
リレー



心で団結した運動会



1年生
ダンス



4年生
借り物
競走

みんなで
築いた
56人
ピラミッド



6年生
組体操



5年生
組体操



行事報告



●PTA会長
縄 稚和典

● 鞆ブロック研修会

6月20日（金）に鞆ブロック研修会が開催されました。

この度は、幹事校にあたり、研修会のお世話をさせていただきました。会では、平成19年度事業決算報告、平成20年度活動計画予算案の審議等が行われ、研修行事として「ことばの力で学校を活性化」という題目で松岡校長先生が講話をされました。

高島小の紹介、活動やことばについて：私たちは生まれつき持っている力の30%も使っていない、ほとんどの能力は潜在意識の中で眠っていて使われていない、言葉とイメージをうまく使うことによって、潜在能力を発揮することができ

ることや、言葉の力で自分の思いや考えをしっかりと表現していくことが児童の課題であること等：ことばの力の大切さを改めて感じました。

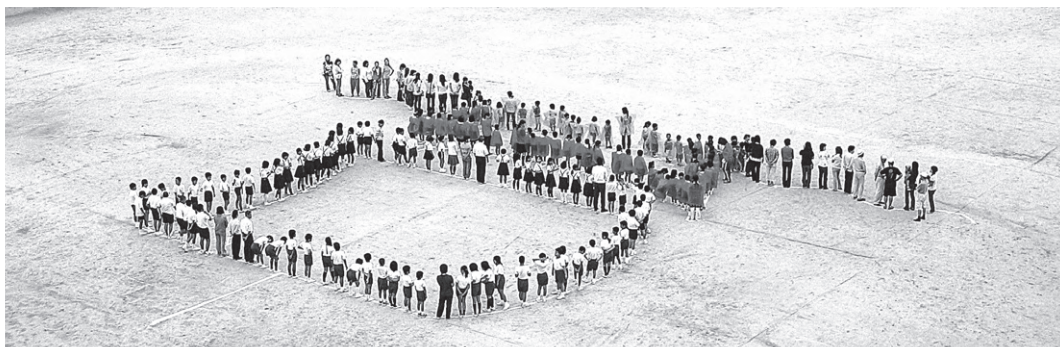
その後、交流、親睦会では、各自PTAのPRやクイズ等で会場の雰囲気も盛り上がり、楽しく賑やかに、幕を閉じることができました。

● 鞆ブロック連絡協議会研修会

9月20日（土）、鞆ブロック連絡協議会研修会（走島で）が開催され、市P連親善球技大会の打ち合わせや、各校現状の交流会がありました。

● 市P連親善球技大会

10月5日（日）市P連親善球技大会では、雨天のため、ソフトボールは中止になりましたが、ソフトバレーボールは抜群のチームワークで、2年連続優勝達成となりました。



高島小
135周年記念
人文字作成



お父さん、お母さんも頑張った！運動会



行事の節で大きく成長



●校長
松岡 明美

早いものでもう師走です。旧暦12月を師走と呼び、現在では新暦の12月の別名としても用います。師走の由来には諸説ありますが、一般には、12月には年末でみんな忙しく、普段は走らない師匠さえも趨走することから「師趨（しすう）」と呼び、これが師走（しはす）になったとされているようです。

冬の健康を願う行事として冬至があります。毎年12月22日頃が冬至にあたり、1年で最も昼が短く、夜が長い日です。このことから次第に寒さも本格的になり、人々は、冬を過ごすための準備や食料の保存に、本格的に取り組まなければならぬ時期となります。厳しい寒さに負けない体作りのための昔の人の知恵

は、今でも十分通用すると思います。年末のあわただしい日々、健康に気を配り、元気に年の締めくくりを過ごしたいものですね。

さて、2学期を振り返ってみますと、運動会や学習発表会などたくさんの方々の行事がありました。行事というのは、竹で言えば節にあたると思います。節は、周りより少し太くて固いですね。この一つ一つの節がしっかりしているとなれば折れません。行事のたびに子どもたちは大きく成長し、強くて太くなりました。そして、この節目を支えてくださったのが地域・保護者の皆様です。田尻伝統芸能保存会の皆様、かざぐるまの会の皆様をはじめ、支えてくださった多くの皆様に心からお礼申し上げます。

また、念願の図書室のデータベース化を実現することができました。これも、かざぐるまの会・ボラ

ンティアの皆様ののおかげです。11月の終わり頃から新しくなった図書室を児童に開放し、読書を楽しんだり、貸し出しを行ったりしています。PTAからご寄贈いただきましたパソコンを子どもたちが操作しながら図書の貸し出しを行っています。ご尽力いただきました方々に感謝の気持ちをもち、読書を楽しんでいます。本当にありがとうございます。

学校教育目標「豊かな人間性とたくましい実践力を育てる」に向けて職員一同、全力で取り組んでまいりたいと思います。今後とも本校教育に対するご支援・ご協力を心よりお願い申し上げます。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。



赤組応援団



白組応援団

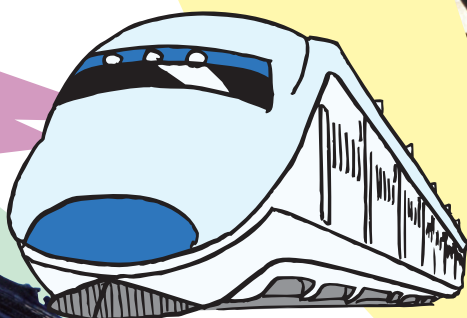


10月1日～2日

コース 1日目 清水寺 → 銀閣寺 → 金閣寺 → 二条城
2日目 奈良公園 → 法隆寺 → 大阪城 → 海遊館

旅行

それを入れる木箱「版面」を制作しました



おみやげ

キーホルダー、ストラップ
ハツ橋
ぬいぐるみ

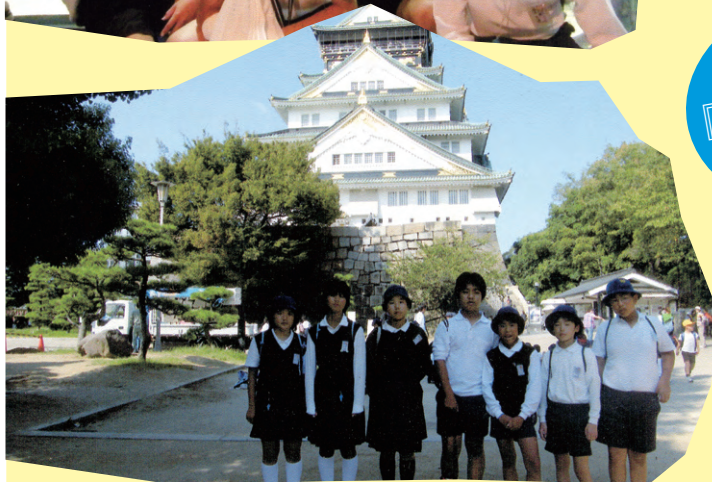
④ 楽しかった事

- 1位 ホテルで遅くまで友達と話した事
- 2位 ホテルでしたミニビリヤード
- 3位 夜の外出、買い物、興福寺の五重塔の散歩

⑤ ハプニング

- 1位 奈良公園での鹿にまつわる事
- 2位 あはれすぎて部屋の電気が壊れそうになった
- 3位 夜の外出で迷子になった





① 楽しかった所

- 1位 海遊館
- 2位 ホテル
- 3位 清水寺

楽しかった 修学旅行

友達との
『絆』を強めた
修学旅行

思い出を残す為「絵巻物」に



② おいしかった食事

- 1位 カニのグラタン
- 2位 法隆寺での昼食カレー
- 3位 ホテルの朝食、夕食

③ お

- 1位
- 2位
- 3位



学習発表会

11月8日(土)

4年生

神楽

「やまたの
おろち」

手や足の動かし方や、口上の言い方など、毎日毎日一生懸命に練習しました。
学習発表会では堂々と舞うことができました。

4年生

はねおどり

9月から「総合的な学習時間」に練習してきました。
本番では、みんなの気持ちを一つにして、大きな声で、自信を持っておどることができました。

1年生

オペレッタ

「くじらぐも」

斉唱

「スクールライフは

エンジョイしなくちゃ！」

“くじらぐも”に出会った子どもたちが、「学校って楽しいよ。」という思いを伝えられるように、大きな声と動作で表現することをがんばりました。

3年生

サウンドオブ

ミュージック

合唱

「パフ」

3年生になって初めてのリコーダー。何度も何度も練習して、きれいな音色を出すことができました。また、歌では、高い声を出すことをがんばり、裏声を出して歌うことができました。



2年生

音楽劇

「スイミー」

「小さな美しい魚の話」

14人でも、大きな歌声と動作で迫力ある演技をすることを目標にがんばりました。1人ではできないけれど、みんなと協力すれば、どんなことでもできる団結力で、堂々とやりぬくことができました。



全校児童

合唱

「翼をください」

やさしく、しつとりと歌うところ、生き生きとはじけるところと、詞の意味を味わいながら歌いました。

全校児童が声と心を一つにして歌いました。



5年生

宿泊体験学習の発表 合奏

「ダイヤモンド」

ながの村の皆さんも見に来てくださった中で、夏の宿泊体験学習で得たたくさんさんの思い出、感謝の気持ちを発表しました。

この体験でできた「絆」は、5年生の「DIAMONDS」です!!



5・6年生

合唱

「瑠璃色の地球」

二部合唱に挑戦しました。高音と低音の重なり合や、やわらかいきれいな声で歌うことをがんばりました。

この一つしかない地球を守りたいという思いを込めて歌いました。



6年生

リコーダー奏メドレー

「ジブリシリーズ」

合唱

「トップオブザワールド」

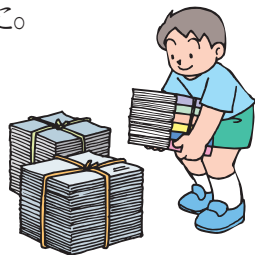
「異邦人」

メロディーとリズムが複雑でしたが、一生懸命に練習を重ねて、みんなで合わせることができました。

小学校生活最後の学習発表会の演奏を、みんなの心を一つにしてがんばりました。



皆様のご協力によって、無事に秋の資源回収を終えることができました。ありがとうございました。



資源回収

10月26日(日)



収益金

古紙類 32,970kg

金属類 418kg

ビン類 381kg

収益金 220,000円



おやごの会



8月9日、親父の会数名と町内の協力者1名とで子供達の待つ、ながの村へ行って参りました。

ながの村とは、どんなところかと去年に同じ場所へ行っただ息子の話も織り交ぜ想像していました。着くと、山中にポツンと古めかしい小さな小学校があり、2階建ての木造校舎(3、4クラス程の建物)と体育館、運動場がありました。体育館は高島小学校の半分位の大きさで、運動場は4分の1くらい小さな運動場です。その校舎などを改修して社会人の研修等で利用できるようにされています。

現地到着後、体育館に集まり木工工作で本立ての工作ということで、親父の会の親父達が2、3名ずつに別れ、子ども達に作り方のウンチクを飛ばしながら、様々な本立ての製作を行いました。実際、作り方と言えども色んな加工手順、組み立て方があるのだなと感心しました。これ、どうすりゃえうんのな子ども達、えらい行つてしまえ的な聞か耳持ちませうな子ども達、よく考えて丁寧に作り上げていく子ども達、見れば見るほど涙が出そうなくらい、みんな大きくなったなあ、と感動ものでしたよ！

は夕食の準備、私達は食後の発表会のキャンプファイヤーの下準備をし、それから子ども達の手作り夕食、カレーとサラダ、ウインナー、食後の桃を頂き、とても満足しました。子ども達もなかなかやるもんだな、料理も上手じゃあうりませんか！またしても確実に成長しているつと、親父は確信です。

そんなこんなしている内に、日も暮れ子ども達の発表会の時間となります。まずは入場から始まり、まず最初、トーチを持ち、もちろん火のついてるやつです。危なっかしいかなあと思つていましたが、結構大丈夫なんですねえ。考えてみれば小学校5年生でした。入場行進して皆が輪になり、いよいよオーブニングです。各班のリーダーがキャンプファイヤーに火を入れていき、それぞれが持っているパートの台詞を言います。

その後、各班の出し物が行われ、各組の班が、楽しい発表会でした。それから親父達も参加の色々なゲームに歌もあり、親父もはしゃいでました。最高に楽しかったですよ！時間が経つのは早いものです。フライングの儀式は、各班のリーダーが先生からトーチに火をもらい、班のみんなに火をわけていき、最後に、校長先生のお話で締め、子ども達は退場しました。



て行きました。神聖な火をテーマにした、友情深まる、そして個性的な新しい感覚のキャンプファイヤーだなと感じました。次回こういつた機会があれば、親父の会に限らず、どうぞ皆さんも存分に我が子の成長ぶりを見に行つて、見つけてやって下さい。もっともつと我が子が大きく見えて来ると思いますが、残念なことに次回はごさいません。

タラタラと長く書きましたが、最後まで読んで頂きありがとうございます。レポートは佐藤千咲の親父でした。次回は！つと、言いたい所ですが、残念なことに次回はごさいません。